

# 筑波大学

つくば機能植物イノベーション研究センター  
次世代農業研究部門



## T-PIRC農場

### サツマイモ栽培と 利用の取組み

茨城県のサツマイモは、収穫量が鹿児島県に次いで全国2位であり、県を代表する作物の一つです。サツマイモは畑作輪作体系を維持する上で重要な作物に位置付けられていることから、T-PIRC農場畑作圃場では、コムギ、ラッカセイ、ソバと組み合わせて輪作栽培を行い、実験・実習に活用しています。サツマイモの施肥管理の1つの取り組みとして、牛ふん堆肥を施用することにより、慣行栽培に比べて化学肥料施用量を1/2に削減し、環境負荷の低減に配慮した栽培に取り組んでいます。また、畑作圃場の一面には、長期施肥連用試験圃を設けて約40年間の長期施肥連用試験を展開しており、貴重な研究の場を提供しています。

サツマイモを活用した学生実習としては、生物資源学類2年生を対象とした生物資源生産科学実習Ⅰ・Ⅱでは、植え付けと収穫を体験することにより、生物資源生産学の理論と技術を理解・習得することができるように、3年生対象の生物生産システム学実習では、機械収穫を体験することにより、実際の農業生産現場での考え方や作業について学習できるよう取り組んでいます。

実習で収穫されたサツマイモは、選別後、カスミ筑波大学店で店頭販売されるほか、筑波大学食堂の食材として活用されています。

2024年度からは、収穫後ロス節減のために、国分関信越株式会社、株式会社カスミと連携して、サツマイモの規格外品を使用した「大学芋」に加工後、カスミ店舗で販売する事業を始めています。

作物の栽培から収穫、加工、出荷、商品までの流れを、実習教育に反映させるとともに、今後も身近な食料の大切さを一人一人が考え行動できるように、サツマイモの栽培と活用を展開出来たらと考えています。



筑波大学つくば機能植物イノベーション研究センターHP <https://www.t-pirc.tsukuba.ac.jp/>

